

適用する汚染状態：[ケース②](#) / 東京低地（砂・シルトなど）における 重金属汚染（主に六価クロム化合物）

技術番号	技術名	申請者名	対象とする特定有害物質の種類	適用濃度	適用条件
6	バイオ栄養源EDC-Mによる六価クロム化合物の原位置バイオ不溶化法	エコサイクル株式会社	六価クロム	・ 100 mg/L以下	・ 六価クロム還元微生物が生息する必要があります。 ・ 地下水位よりも上（不飽和層）の土壤汚染は、掘削除去等の他の措置が必要になる場合があります。
8	バイオメタガード工法	株式会社大林組	カドミウム、六価クロム	・ 各物質とも第二溶出量基準、第二地下水基準への対応可能。	・ 工事前に適用可能性試験が必要。 ・ 栄養剤が浸透しない地層の場合は適用不可。 ・ 効果が得られなくなった場合、薬剤の追加注入が必要。
9	薬剤注入による汚染拡散防止壁工法	株式会社大林組	カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、水銀、セレン、ほう素、ふっ素	・ 各物質とも第二溶出量基準、第二地下水基準への対応可能。 ・ 砒素は基準値の990倍の汚染地下水、六価クロムは基準値の5,000倍の汚染地下水でもそれぞれ適用可能。	・ 工事前に薬剤の適用可能性試験が必要。 ・ 薬剤が浸透しない地層の場合は適用不可。 ・ 高濃度汚染の場合、薬剤の吸着効果持続期間は短期化。効果が得られなくなった場合、薬剤の追加注入が必要。